

関 市 議 会

令和8年第3回定例会

(令和8年9月9日・10日・11日)

代 表 質 問 順 序 表

順序	議席	氏 名	会 派 名	
1	11	長 尾 一 郎	新 政 ク ラ ブ	9日午前～

一 般 質 問 順 序 表

2	15	幅 永 典	市 議 会 公 明 党	9日午後～
3	5	北 村 隆 幸	新 政 ク ラ ブ	9日
4	6	長 瀬 敦 久	新 政 ク ラ ブ	9日
5	3	村 井 芙美加	新 政 ク ラ ブ	10日10:00～
6	17	浅 野 典 之	新 政 ク ラ ブ	10日
7	13	栗 山 守	若 草 ク ラ ブ	10日午後～
8	14	足 立 将 裕	市 議 会 公 明 党	10日
9	16	市 川 隆 也	市 議 会 公 明 党	10日
10	1	川 合 治 義		11日10:00～
11	2	安 達 克 也	清 流 ク ラ ブ	11日
12	21	猿 渡 直 樹	日本共産党関市議員団	11日午後～
13	4	岩 出 和 也	新 政 ク ラ ブ	11日
14	20	小 森 敬 直	日本共産党関市議員団	11日

代 表 質 問

新 政 ク ラ ブ

議席 1 1 番 長 尾 一 郎

1 大規模災害の教訓を踏まえた本市の防災・減災対策について

- (1) 能登半島地震を踏まえた本市の防災対策の総点検は
- (2) 避難所の環境改善と在宅・車中泊避難への対応は
- (3) 要配慮者・高齢者等への支援は
- (4) 孤立集落対策と地域防災力の強化は
- (5) 民間企業・医療・福祉・NPOとの連携は
- (6) 「防災に強い関市」をつくるための今後の方針は

2 河川利用に伴う地域課題について

- (1) 河川利用の現状認識は
- (2) 現在の対策とその効果は
- (3) 地域住民の負担軽減は
- (4) 行政主体の環境整備は
- (5) 河川利用ルール・条例制定は
- (6) 先進自治体の取組と今後の方針は

一 般 質 問

議席 1 5 番 幅 永 典

1 関の工場参観日の改善について

- (1) 本事業の成果と課題認識は
- (2) 通年型「見せる産業拠点」の必要性についての認識は
- (3) 若者・学生との接点づくりと人材確保への展開の考えは
- (4) 本市の産業ブランド形成推進の考えは

2 重度心身障がい者（児）福祉医療費助成制度の対象拡大について

- (1) 対象外となっている人数は
- (2) 対象外となっている方の医療ニーズの把握はしているか
- (3) 相談や要望の声は届いているか
- (4) 現在の対象基準の考え方は
- (5) 18歳までと18歳以降の制度の切れ目についての認識は
- (6) 県内自治体によって制度の対象範囲が異なることについての認識は
- (7) 所得制限や段階的な対象拡大についての見解は
- (8) 対象拡大した場合の財政負担は
- (9) 現在の対象範囲を含め、制度全体を改めて検討する考えは

一 般 質 問

議席5番 北 村 隆 幸

- 1 みんなの就職サポートセンターの機能強化と、20代・30代のUターン・Iターン就職支援について
 - (1) 本市の若者の就職とUターン・Iターンの実態について
 - ア 20代・30代の転出入の状況と、Uターン・Iターンの実態把握は
 - イ 高校卒業者の進学率・就職率の推移と、市内企業の新規学卒採用の状況は
 - ウ 市内企業の中途採用の状況とニーズの把握は
 - エ 求人媒体への掲載費補助事業の概要と実績、それによって採用に至った人数は
 - (2) 本市の若者就職支援の取組状況について
 - ア 当センターの設置目的、事業概要、人員体制及び運営経費は
 - イ 設立から8年、当センターの成果指標と評価は
 - ウ 当センターの役割として第3期関市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた「学生等の就職支援」「求人と求職のマッチング」「就労のあっせん」の実施状況は
 - エ ふるさと就職情報お届け便の登録者数と成果、卒業後の取扱い
 - (3) 若者のUターン就職を促す取組について
 - ア 移住定住施策と就職支援の連携は
 - イ 20代・30代の若者とつながり、情報を発信できる仕組みは
 - ウ ハローワーク関との連携の現況は
 - エ 無料職業紹介、地方版ハローワークの導入は
- 2 留守家庭児童教室の一部民間委託の検証及び長期休業期間中の昼食について
 - (1) 今年度の入室児童数（通常期と長期休業期間）及び入室要件の緩和の経緯と現状は
 - (2) 民間委託により変わったことは。期待された効果の実現状況と直営教室との差は
 - (3) 民間委託の評価と次期方針を決めるスケジュールは
 - (4) 長期休業期間中の弁当の保管方法と、保護者の負担・不安の声の把握は
 - (5) 委託教室の昼食注文の概要、実施教室数、1食あたりの単価及び申込率は
 - (6) 申込率が低調な要因は
 - (7) 締切の緩和、メニューの見直し、一括発注による単価引下げは
 - (8) 昼食注文の直営教室への拡大により、保護者の負担を軽減しては

一 般 質 問

議席 6 番 長 瀬 敦 久

1 関市公立保育所適正化計画（案）の再検討について

(1) 閉園方針の再検討について

- ア 小規模特認校の状況を踏まえた富野保育園の今後のあり方の考えは
- イ 小規模特認校のどのような状況や変化を捉えていくのか
- ウ 小規模特認校を踏まえた保育園のあり方における市民・入園希望者への周知は

2 地域の持続可能性について

- (1) 小規模特認校制度を生かすための既存施策との連携は
- (2) 令和 1 2 年度までの市と地域による進捗・課題の共有は
- (3) 第 6 次総合計画における中山間地域政策の位置付けは

3 子どもの体験格差について

- (1) 子どもの成長における多様な体験機会の意義の捉え方は
- (2) 本市の体験格差の現状と取組について
 - ア 本市における体験格差の現状把握は
 - イ 「関市こどもまんなか計画」において、家庭への支援だけでなく、子ども本人に体験や学びの機会を届ける支援は
 - ウ 長野市の「みらいハッ！ケンプロジェクト」など、他自治体における体験格差是正の取組をどのように捉えているか
- (3) 体験格差の是正に向け、実態把握と先進事例の調査・研究を進め、「関市こどもまんなか計画」の理念を具体的な施策につなげては

一 般 質 問

議席 3 番 村 井 芙美加

1 太陽光発電設備の設置と農地・地域環境との調和について

(1) 太陽光発電を目的とした農地転用の現状について

ア 農地法第 4 条及び第 5 条による申請・許可の件数及び総面積は

イ 太陽光発電設備の設置による農地減少にかかる本市の認識は

ウ 土地の造成や排水設備、周辺環境への影響について、本市では事業者に対して対策を求めているか

エ 農地転用に関する情報と太陽光発電設備設置に関する情報の庁内連携は

(2) 太陽光発電事業の細分化と「一体的な事業」の把握について

ア 本市の太陽光発電設備設置事業に関する条例における「近接し、一体的に事業を実施する」の具体的な基準は

イ 地域住民との合意形成及び周辺地域の防災対策における本市の関与は

(3) 現行体制の見直しの必要性和今後の方針は

2 母子保健DXの推進について

(1) 母子保健におけるデジタル化の現状と課題は

(2) PMHや電子版母子健康手帳の導入にかかる本市の考えは

(3) 里帰り出産における自治体間の情報連携と支援の現状は

一 般 質 問

議席 17 番 浅 野 典 之

1 都市計画区域・都市計画税の見直しの必要性について

- (1) 令和 7 年度決算における都市計画税の充当状況及び余剰金の取扱いは
- (2) 令和 7 年度の都市計画税の事業別・使途別の充当割合は
- (3) 令和 8 年度から 12 年度の都市計画事業実施計画及び充当見込は
- (4) 都市計画税の充当は市として事業量、受益と負担、国庫補助金、地方債、一般財源、区域内外の市民負担の公平性などを総合的に勘案した適正な充当についての基本的な考え方、運用原則を持つ必要があるのでは
- (5) 次期都市計画マスタープランの策定に向け、人口減少等を踏まえた都市計画区域、課税区域を含めた都市計画税のあり方の検証の必要性があると考えてるが、市の見解は。併せて検証を行う考えは
- (6) 都市計画区域の均衡ある発展のため、立地適正化計画における都市機能誘導区域と居住誘導区域の都市計画事業の配置、及び都市計画区域全体への都市計画事業の配置が必要と考えるが、立地適正化計画の見直しを含めた市の展望は

一 般 質 問

議席 1 3 番 栗 山 守

1 R S ウイルス感染症ワクチン接種について

- (1) 令和 8 年 4 月から妊婦を対象とした R S ウイルス感染症の定期接種（母子免疫ワクチン）を開始されたが、実施するに至った経緯は
- (2) 本制度の内容は
- (3) 4 月からの実績は
- (4) この実績に対する本市の評価は
- (5) 2 歳未満の乳幼児や高齢者が罹患した時の危険性の認識は
- (6) 2 歳未満の乳幼児や高齢者を対象とした予防接種助成をすべきでは

2 ゴールデンウィークスペシャルについて

- (1) 本イベントの目的は
- (2) 今年度の実績は
- (3) 参加者および参加団体からの意見内容は
- (4) 事業の費用対効果は
- (5) 本イベントを外部に委託することの成果と課題は

3 補助金交付団体の会計処理について

- (1) 市単独の補助金の総額は
- (2) 令和 5 年度定期監査結果で指摘を受けた担当課に対する改善確認の状況は
- (3) 補助金交付団体の通帳管理移行の現状は
- (4) 現在、本市が管理している団体通帳の今後の方針は

一 般 質 問

議席 1 4 番 足 立 将 裕

1 食料品消費税率引下げに伴う本市財政への影響について

- (1) 本市における税収減の試算は
- (2) 減収により本市の社会保障事業や独自施策の継続性に懸念はないか
- (3) 減収補填に向けた国・県への働きかけは
- (4) 消費税率変更に伴う市内中小事業者等への支援は
- (5) 令和 9 年度予算編成方針への影響は

2 成年後見制度等の適切な利用支援と関市権利擁護センターについて

- (1) 近年の本制度の利用実態は
- (2) 社会福祉法改正の受け止めと現状の評価は
- (3) 本制度の更なる周知方法は
- (4) 本センターの機能強化と質的向上は
- (5) 市民後見人の育成・活用と法人後見の体制強化は
- (6) 日常生活自立支援事業と成年後見制度を一体的に提供する仕組みは

3 資金運用結果の公表について

- (1) 公表内容は
- (2) 令和 7 年度の資金運用実績は
- (3) 債券含み損の処理結果は

一 般 質 問

議席 16 番 市 川 隆 也

1 防災・減災対策について

- (1) 水道管の耐震・老朽化対策について
 - ア 最大震度を想定した断水世帯の予測は
 - イ 対策の進捗状況と課題は
- (2) 感震ブレーカー設置促進のために補助金の導入は
- (3) 災害時に活用できる移動式トイレの導入は
- (4) 避難所の整備拡充と運営業務の効率化について
 - ア 避難所の段ボールベッドやコットベッドの導入状況は
 - イ デジタル技術を活用した避難所受付業務の効率化の推進は
 - ウ 人的受援計画の進捗状況は

2 空き家対策について

- (1) 令和 7 年度実施の実態調査について
 - ア 地域別空き家等の件数は
 - イ 調査結果の概要は
 - ウ 空き家等対策上の課題は
- (2) 特定空き家の認定と除却の進捗状況について
 - ア 令和 7 年度、8 年度の実績は
 - イ 現在までの特定空き家の認定件数と除却件数は
- (3) 空き家等解体費補助及び空き家家財処分費補助の進捗状況について
 - ア 令和 7 年度、8 年度の実績は
 - イ 令和 5 年度から 8 年度までの累計件数は
 - ウ 本年 8 月に令和 8 年度補助金の受付終了が発表されたが追加受付は
- (4) 管理不全空き家対策について
 - ア 管理不全空き家の推移は
 - イ 対策の進捗状況は
- (5) 空き家等実態調査から見えてくる第 3 期計画への重点施策は

3 スズメバチの（巣）駆除支援について

- (1) 市民からの相談件数は
- (2) 相談者への対応は
- (3) 駆除費用の現状は
- (4) 費用の負担軽減を検討できないか

一 般 質 問

議席1番 川 合 治 義

1 道の駅平成周辺の混雑について

(1) 地元住民の苦痛と解決策は

- ア 下之保・町自治会の住民への迷惑と苦痛を具体的に把握しているか
- イ 本年5月の町自治会からの嘆願事項とその対応策は
- ウ 対応策の効果は
- エ 対応策が抜本的な解決に至らない理由は

(2) 道の駅周辺の駐車場の管理責任について

- ア 道の駅・公園脇と未舗装の駐車場別収容台数とそれぞれの管理責任は
- イ 道の駅駐車場の本来の目的は
- ウ 目的外駐車による道の駅の7月・8月分の営業の悪影響は
- エ 目的外駐車の使用は指定管理者が対応すべきでは
- オ 津保川水浴客やバーベキュー客などの駐車場占拠の規制方法はないか
- カ 駐車場占拠をさせない効果的な条例制定は

(3) 河川管理用道路及び河原へ下りる消防水利用の接岸道路について

- ア 河川管理道路の管理責任の観点からテントなどの設営は認められないのでは
- イ 消防法第21条により坂道の先端で吸水できる流れを回復すべきでは

(4) 消防水利用接岸道路の先の河川法第27条による形状変更について

- ア 平成29年12月と同31年4月の形状変更の内容と目的は
- イ 地元と美濃土木事務所との事前協議事項の内容は

(5) 駐車場整備について

- ア 令和4年11月の河川敷駐車場整備の目的は
- イ 同年11月13日の同駐車場の一時使用後は放置する方針だったのか
- ウ 現在も残る同駐車場の管理責任は

2 中学生平和研修（長崎市派遣）について

(1) 事業の概要と成果は

(2) 参加者の感想や決意を広報して平和研修の成果を市民に伝えては

(3) 次回からの参加者を増やし、男女均衡を図っては

一 般 質 問

議席2番 安 達 克 也

- 1 保育園の送迎バスについて
 - (1) 市内保育園の運行状況は
 - (2) 子育て支援として必要では
 - (3) 保護者が就労している外国籍の園児の送迎の必要性は
 - (4) 今後、外国籍の通園児の送迎ニーズが増えるのでは

- 2 指定避難所（体育館）の空調設備について
 - (1) 現在の設置状況は
 - (2) 今夏の酷暑下での利用状況は
 - (3) 運用における課題は
 - (4) 今後の整備予定は
 - (5) 熊本地震を教訓に災害時に想定される課題は

一 般 質 問

議席 2 1 番 猿 渡 直 樹

- 1 公共施設再配置について
 - (1) 関市公立保育所適正化計画（案）の「再検討」が不十分ではないか
 - (2) 公民センター廃止について
 - ア 敬老会開催への影響は
 - イ 臨時避難所確保への影響は
 - (3) 再配置計画見直しについての考えは
- 2 災害時の避難所環境の整備について
 - (1) 避難所設置時の備品等の準備状況は
 - (2) 今後の課題は
- 3 デマンドバス予約システムの改善を
- 4 俳句大会の選考過程について
- 5 基金運用の現状と今後の見通しは

一 般 質 問

議席 4 番 岩 出 和 也

- 1 「つながることで価値を生む」地域連携について
 - (1) 長良川鉄道が現在抱えている課題の認識は
 - (2) 沿線 5 市町による活性化に向けた新たな協議体における協議内容は。また、その方向性は
- 2 市境を越えた広域観光の推進について
 - (1) 近隣自治体との広域連携の現状と課題は
 - (2) 中濃圏域（関市、美濃市、郡上市など）の歴史、文化のストーリーは
 - (3) 本市が提供できる観光体験の強みは
- 3 体験機会の充実と地域とのつながりについて
 - (1) こどもの体験機会を促すための工夫は
 - (2) 市民の体験や学びの機会を増やすための取組は
 - (3) せきファンクラブの現在の取組状況と今後の展開、課題は

一 般 質 問

議席 20 番 小 森 敬 直

1 P F A S 汚染について

- (1) 危険性の認識は
- (2) 給水地域住民の血液検査実施を
- (3) 原因調査のため水源地周辺の土壌調査の実施を

2 介護保険制度について

- (1) 特定地域の指定の影響は
- (2) 特定地域の指定の撤回を求め独自の対応策の検討を

3 防災対策について

- (1) 熊本地震や全国各地の集中豪雨災害についての見解は
- (2) 災害の危機意識の啓発を進めるべきでは